

呼び込む対策は？

A. 市では、六日町地域のみなさんや観光協会や六日町商工会などで組織されている実行委員会と連携しながら、兼続公まつりの企画や運営に協力しています。

しかし、地元のみなさんの「祭り」に対する意識も変化してきており、以前のように盛大に祭りを開催することはなかなか難しくなってきたと考えられます。祭り離れの現状に少しでも歯止めがかけられるよう、実行委員会と協力しながら事業を進めていきます。

観光事業については、国内観光客が減少傾向にあり、市もこの影響から観光客数は伸び悩んでいます。観光客数を増加させるには外国人観光客の受け入れが大きなカギと考えていることから、今後3か年をかけて、市特有の「雪」「人」「食」「文化」などの魅力ある観光資源を活用しながら外国人誘客を進めていきます。

Q. 利雪について。雪室が成果を上げているようだ。周辺市町と一緒に発信できるイベントを開催してはどうか。

A. 7月6日(金)・7日(土)に南魚沼市民会館で、食や観光、産業などで雪の活用を考えるシンポジウム

「第13回雪の市民会議」が開催され、市民や他市の関係者など多くの人が参加しました。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、渋谷区やお台場など首都圏のイベントを中心に雪資源の活用による環境にやさしいエネルギーと市の魅力をPRしています。



### 行財政改革・市民参画

Q. 大災害が起きた際の状況が想定できず、自主防災組織の集会所や必要行動について、区の役員をやつていて不安がある。

A. 毎年7月の第1日曜日に南魚沼市総合防災訓練を行っています。訓練では、市民の防災意識を高めるとともに、実際の災害は大変で

あると気づくことが重要と考えます。災害時は、社会機能が麻痺し市職員も被災します。有事の際は、市が先頭に立ちますが、まずは自分の身を自分で守ることを意識し、地域の自主防災組織で支え合うような地域力のあるまちづくりをめざしたいと考えます。

### 参加人数

形式	会場	参加人数
従来制 (市が会場などを指定)	塩沢公民館、本庁舎、大和庁舎、栃窪集落開発センター、ゆきぐに大和病院 健友館(日中開催)、清水ふれあい会館、後山集落センター、辻又地域多目的ホール、イオン六日町店専門店館2階(日中開催・託児あり)	180人
申込制 (候補日から行政区単位で申込み)	ホテル綿ぼうし〔大和区〕、市野江集会所〔市野江区〕、大崎農業会館〔大崎区〕、上原農業集落センター〔上原区〕、法音寺集会所〔法音寺区〕、せせらぎ〔大倉区〕、岩山集落開発センター〔岩山・町屋・境川区〕、八幡集落開発センター〔八幡区〕	171人
	合計	351人